

Javaのアップデート方法

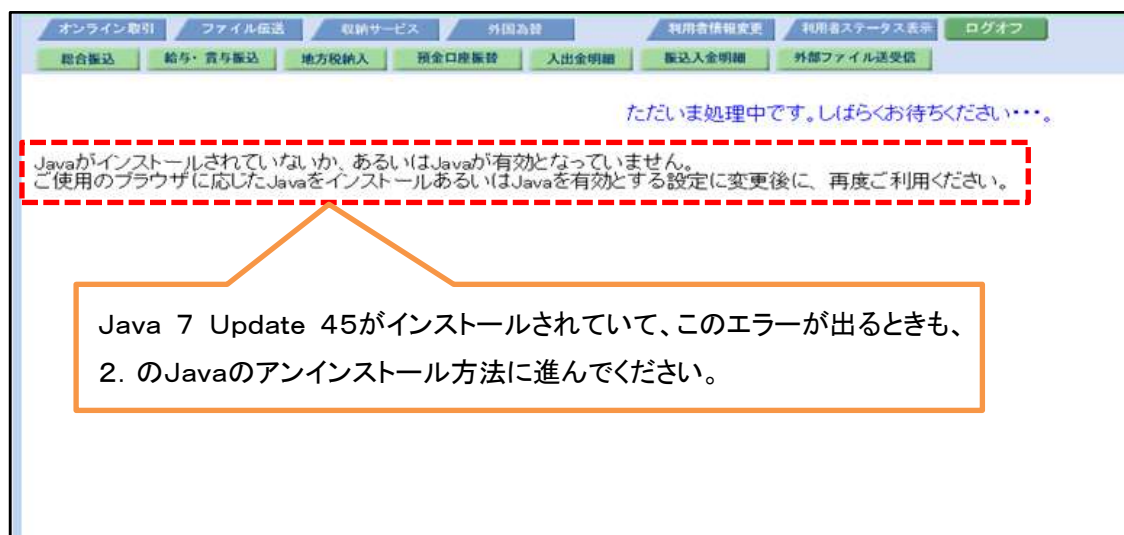
1. まずJavaのバージョンを確認してください。

- (1) 「スタート」をクリックします。
- (2) 「コントロールパネル」をクリックします。
- (3) 「プログラム」を選択し、「プログラムと機能」をクリックします。
(Windows XPの場合は、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックします。)

- (4) インストールされているプログラムが表示されるので、Java Update OO (OOにはバージョンの数字が入ります) がインストールされていることを確認してください。

- (5) Java 7 Update 45が平成25年10月16現在の最新バージョンです。古いバージョンのJavaが入っている場合は2. に進んでください。

またJava 7 Update 45がインストールされていても、ビジネスダイレクトのデータ伝送のメニュー選択時に下図のように『Javaがインストールされていないか、あるいはJavaが有効になっていません。・・・』のエラーが出る場合も、2. に進んでください。



2. Javaのアンインストール方法

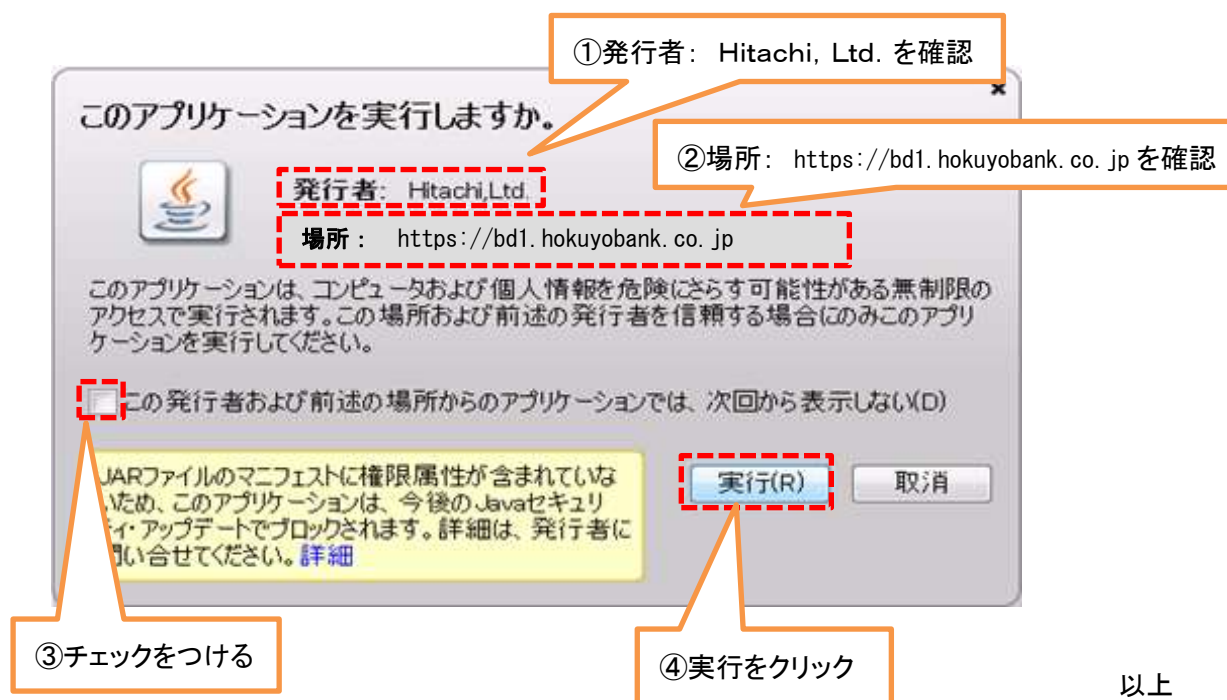
- (1) 上記1. (4) の画面に表示されるJava Update OO (Oにはバージョンの数字が入ります) を選択して、「アンインストール」ボタン (Windows XPの場合は、「削除」ボタン) をクリックしてアンインストールしてください。
- (2) 上記1. (4) の画面に表示されている全てのJavaがなくなるまで、アンインストールを行ってください。
- (3) 全てのバージョンのJavaが無くなった場合は、3. に進んでください。

3. パソコンの再起動

Javaのアンインストール終了後に、パソコンを再起動してください。

4. 最新バージョンのJavaのインストール方法

- (1) 北洋ビジネスダイレクトのトップページの【ご利用環境】をクリックしてください。
- (2) 画面内にある表の4段目Java欄の、「Javaのダウンロードはこちらをクリック」をクリックしてください。オラクル社のホームページが開きます。
※混み合っている場合は「ページが表示できません」となる場合がありますが、何度か再読み込み（戻ってから再クリック）すると画面が進みます。
- (3) 【無料Javaのダウンロード】ボタンを押してください。
- (4) 【同意して無料ダウンロードを開始】ボタンをクリックしてください。
- (5) セキュリティの警告として、「このファイル（JavaSetup7u45.exe）を実行または保存しますか？」というダイアログボックスが表示されます。
※下記A. またはB. どちらかの方法でインストールできますが、オラクル社のページが混み合っている場合は、A. の方法ではうまくいかない場合があります。その場合はB. の方法を行ってください。
A. そのままインストーラーを実行する場合は、【実行】を選択します。
B. ファイルを保存して後で実行するには、【保存】を選択し、ダウンロード完了後に【実行】を選択します。
- (6) インストールが始まります。画面の指示に従ってください。
※ユーザーアカウント制御のダイアログボックスが出る場合があります。その場合はパソコンの管理者アカウントのパスワード（ビジネスダイレクトの暗証番号ではありません）を入力してください。
- (7) インストールが完了しましたら、一度全てのInternet Explorerを閉じた後に、北洋ビジネスダイレクトにログオンしてください。
- (8) ログオン後、データ伝送のメニューを選択すると、Javaが作動します。『このアプリケーションを実行しますか』というダイアログが表示された場合は、「この発行者および前述の場所からのアプリケーションでは、次回から表示しない」にチェックを入れて、実行をクリックすると画面が進みます。



以上